

大山の森だより



2018年 冬号

大山の冬の音

紅葉が終わり大山の山頂が白く変わる11月中旬から、スキー場がオープンする12月中旬までの間が、大山がもっとも静かな時期です。大山寺の参道を歩く観光客がほとんど見られなくなり、森で鳴きかわす鳥の声も少なくなります。

雪が積もると、大山はスキー客で賑わいを取り戻しますが、森の中は静寂に包まれます。深く積もった雪が音を吸収し枝から雪が落ちる音さえも大きく感じられます。

春3月、太陽の光が森の雪の上に差し込む日が多くなると、鳥たちの鳴き声があちこちから聞こえるようになります。そして雪解けも進み、スキー客がいなくなったころ、大山の北壁の地響きが大山寺集落にも聞こえるようになります。日中に岩の隙間に染み込んだ雪解け水が、夜に凍結して膨張し、巨大な岩を谷に落とす音です。とどろきとともに大山の春が訪れます。



秋期 自然ふれあい事業 活動報告

秋の溪畔林を歩く。山陰の奥入瀬「木谷沢」 10月31日



紅葉の美しい木谷沢を散策。溪畔林の植物を観察しました。トチノキやハルニレのなど巨木が多く雄大な自然を楽しみました。

2018奥大山古道ウォーク（共催事業） 11月10日



今年は大山開山1300年にちなみ、例年より多い130名の参加者を募集して開催しました。温かな晴天の下、落ち葉を踏みしめながら気持ちよく歩きました。

木の実リースと木の葉のオブジェづくり 12月1日



女性ばかり9名の参加者がリースやオブジェづくりに挑戦しました。素材は大山周辺から集められたもの。繊細でおしゃれな作品が完成しました。

リースづくり参加者の作品



■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。
予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。
裏面にイベント情報を掲載しています。

大山の冬鳥



冬鳥とは、秋に北方から渡来して越冬し、春に北方に去って繁殖する渡り鳥のことです。大山にやってくる代表的な冬鳥をご紹介します。



アトリ :

シベリアから集団で渡ってきます。渡来初期は数十万羽という大規模な群れになることがあり、名前の由来も「集まる鳥」からという説があります。常に集団行動をし、木の実をついばみます。キョツ、キョツと鳴きながら飛ぶ鳥の群れはこの鳥です。雪が深くなると低地に移動し、草の実などを食べているのを観察できます。



ヒレンジャク・キレンジャク :

ユーラシア大陸北部で繁殖。どちらもよく似ていますが、尾の先が赤いのがヒレンジャク、黄色いのがキレンジャクです。どちらも頭に短い冠羽があります。混ざって100羽以上の群れになることもあり、その地域の木の実(果実)を食べつくすと移動します。日本に渡ってこない年もあります。



シメ :

日本では北海道で繁殖し、秋になると本州に渡ってきます。短く太いくちばしとずんぐりした体系が特徴の茶色い鳥です。頑丈なくちばしで堅い木の実や草の実を割って食べます。単独か小さな群れで行動し、大山のふもとの森で見られます。



マヒワ :

多くがユーラシア大陸から渡ってきますが、中部地方以北の山地で繁殖する個体も少なくありません。頭頂や背中黒いですが遠目からは全身黄色の小鳥に見えます。ほぼ群れで行動し、マツやスギやタンポポなどの小さな実や種を食べます。漢字で「鶉(ヒワ)」と書く理由は、捕まえるとすぐ死んでしまうからとか。



ベニマシコ :

オスは赤、メスは茶色い色をしています。日本では青森以北で繁殖し、冬の大山では落葉樹林の下の茂みや草原の周りで見られます。マシコとは猿の古い呼び名で、オスの羽の色が猿の顔のように赤いことから名づけられたと考えられています。波型を描いて飛ぶ赤い小鳥がいたら注目してください。



シロハラ :

中国東北部やロシア沿海州から西日本に多く飛来します。大山のふもとの森で、落ち葉をひっくり返して木の実や昆虫を探る姿が観察できます。「木の葉返し」という地方名もあるとか。暗褐色の鳥で腹の部分が白っぽいことが名前の由来とのことですが、白ではなく灰色に見えます。単独で行動しています。今回紹介した他の冬鳥に比べて一回り大きめの鳥です。



ルリビタキ :

日本では四国以北の山地で繁殖し冬に南に移動します。厳密にいうと大山でも繁殖しているの冬鳥とは言えないかもしれません。繁殖シーズンは警戒心が強く観察しづらいので、出会うなら冬がおすすめ。溪流沿いの森で出会えます。オスは頭の上から尻尾の先まで瑠璃色の羽で覆われた美しい小鳥です。単独で行動し、「ヒッ、ヒッ、」と鳴きます。ヒタキという名前は鳴き声が火打石の音に似ているからとか。



ジョウビタキ :

本来は中国の東北部や朝鮮半島などで繁殖する鳥ですが、ここ数年、大山寺集落で繁殖が確認されています。単独で行動し、冬は「ヒッ、ヒッ、ヒッ、」という甲高い声で鳴きます。「カッ、カッ、カッ」と鳴くこともあります。お辞儀をしながら鳴く姿がかわいいです。冬は大山のふもとでよく見られます。

※鳥の写真はすべてインターネット上からお借りました。

●冬に目立つ「ヤドリギ」

落葉した木々の枝で目立つもこもこした緑の丸い植物。それはヤドリギです。落葉樹に寄生し、その幹から水分などを吸い取って生育しています。よく見るとうす黄色い実(まれに赤い実)が付いています。ヒヨドリやヒレンジャク等の野鳥がこの実を食べますが、ほとんど消化することはできません。体内から出た粘り気のある種が樹皮上に張り付くことで、根を下ろし、寄生がはじまります。



○大山天狗考

大山に住む天狗は誰？



大山には古くから天狗が住むと言われ、地名や伝説などが多く残されています。

天狗とは人間のような姿をして、肩に翼があり、空を飛んで怪異をなす日本の山の妖怪です。有名なのは日本八大天狗の一人で源義経に武芸を教えたと言われる鞍馬天狗ですが、その八大天狗の中に大山伯耆坊もいます。もともと伯耆大山(鳥取県)に住んでいましたが、鎌倉時代に相模国(現在の神奈川県)の大山(おおやま)に移ったと言われています。

大山ではもう一人、伯耆大山清光坊という天狗が知られています。調べると伯耆大山清光坊と大山伯耆坊は同じ天狗らしいということがわかってきました。つまり伯耆大山清光坊が相模大山に移ってから名乗ったのが大山伯耆坊ということです。※詳しくはまたの機会に

では現在、伯耆大山に住む有名な天狗はいないのでしょうか？江戸時代中期にまとめられた祈禱秘経「天狗経」には48体の天狗の名前と住処が記されていますが、その中に伯耆大山の剣が峰に住むという大原住吉剣坊(おおはらすみよしつるぎぼう)という天狗の名前がありました。詳しくはよくわからないのですが刀鍛冶に崇拝された天狗とのこと。平安時代の伝説の刀鍛冶で、源頼光が酒吞童子を切った刀「童子切(国宝)」を鍛えたという大原安綱と関係がありそうです。大原安綱は大山のすそ野で現在の伯耆町大原に工房を構えていたとか。



というわけで現在、大山に住んでいるのはこの大原住吉剣坊という天狗でした。

※写真は「からす天狗のぐーちゃん」。大山参道振興会のマスコットキャラクターで平成10年から活躍しています。

ーイベント情報（1月～3月）ー



■自然公園財団のイベント（予定 2018年12月27日現在）

<p>○スノーシューで行く大山・幻の滝(稚児滝) 開催日:1月26日(土)9:00~13:00頃 会場:大山寺周辺 集合場所:大山ナショナルパークセンター 1F自然公園財団前 参加費:2000円 食事付 別途:スノーシューレンタル料1000円 (サイズ22センチ以上対応) 定員15名</p>	<p>【内容】  かつて呼瀧山と呼ばれた豪円山。その幻の滝を見に行きます。垂直の岩壁に張り付く氷が神秘的な美しさ。大山の隠れた名所です。スノーシュー初心者も可能。</p>
<p>○スノーシューで行く天狗屋敷(求聞持堂) 開催日:2月16日(土)9:00~13:00頃 会場:大山寺周辺 集合場所:大山ナショナルパークセンター 1F自然公園財団前 参加費:2000円 食事付 別途:スノーシューレンタル料1000円 (サイズ22センチ以上対応) 定員15名</p>	<p>【内容】 かつて大山は選ばれた6名の僧侶しか登ることを許されない神聖な山でした。その僧侶たちが登山の前に精進潔斎した場所が求聞持堂、通称、天狗屋敷です。現在は建物もなく、行く道ありませんが、大山寺を望む尾根の上に広場が残っています。その天狗屋敷にスノーシューでチャレンジします。中級者以上。</p>
<p>○冬芽観察会 雪の中のひな祭り 開催日:3月3日(日)9:00~13:00頃 会場:大山寺周辺 集合場所:大山ナショナルパークセンター 1F自然公園財団前 参加費:2000円 食事付 別途:スノーシューレンタル料1000円 (サイズ22センチ以上対応) 定員15名</p>	<p>【内容】  大山の森を春の気配を探しにスノーシューを履いて散策します。冬芽をお雛様に見立てて写真を撮り、甘酒とヒナあられで雪の中のひな祭りを楽しみます。初心者可能。</p>

■周辺のイベント■

「大山寺節分会」

問い合わせ:大山寺(0859-52-2158)

2月3日(日)10:00~

会場:大山寺本堂

参加費無料

大山寺では毎年2月3日に、本堂で「節分会」という法要を行っています。

節分会では大般若経600巻の※転読と豆まきが行われ、邪気を払うとともに福を招き寄せます。

深い雪に覆われた大山の神聖な行事にご参加ください。

※転読とは、大般若経を弧を描くようにバラバラバラっと流し読む事。



一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33

大山ナショナルパークセンター(旧大山情報館)1階

TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370

URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

